



西豊地区
まちづくり
基本構想

4. 解決すべき課題の整理

地域の強みと弱み（住民アンケートより）

(1)地域の強み

- 自然環境に恵まれている（神野山、鍋倉溪、星、空気 等）
- 比較的アクセスがよい（名阪国道、都市部から近い）
- 人のまとまりがよい、仲がよい
- 人がよい、優しい、温かい 等

(2)地域の弱み

- 生活しづらい、不便（通学、買い物、子育て、通院）
- 地域に仕事・職場が少ない
- ルールやつきあいが煩わしい
- シンボルの神野山と距離感あり
- インフラ(特に道路)が未整備 等

地域の背景と課題

- 村随一の観光資源である「フォレストパーク神野山」へは多くの方が来場されるが、サービス拠点施設の充実や商品が少ないこと等が課題となっている。
- 過疎化による人口減少、進学、就職を機に、村外へ移り住む若者の増加による地域のコミュニケーション(繋がり)の希薄化を懸念し、旧西豊小学校区の5大字で構成された「西豊地区振興会」が設立され、「旧西豊小学校」を拠点に寺子屋、星空観察会、盆踊り等を実施している。
- 生産者の高齢化・後継者不足により、特産である「大和茶」の生産が減少している。また、大和茶以外の産業が少なく、村内での雇用の確保が困難であるとともに、耕作放棄地が増加している。
- 名阪国道・県道奈良名張線へのアクセス、村内アクセスの整備が不十分である。

人 産業 インフラ

- 産業としての観光が未成熟
- 過疎(人口減少・転出過多)に伴うコミュニケーションの希薄化
- 高齢化・後継者不足による茶生産の衰退と耕作放棄地の増加
- アクセス道路の整備が不十分